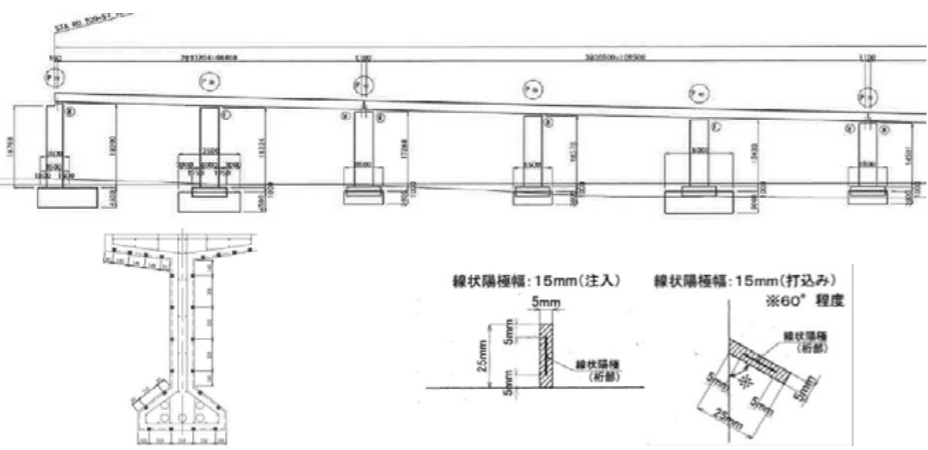


【6】多径間PC-T桁橋適用例

電気防食方式		チタンリボンメッシュ陽極方式			
対象構造物名		プレストレスコンクリート高架橋			
構造形式 竣工年	PC構造	RC構造			
	○				
	竣工年	1968年供用開始			
立地地域 (県市町村等)		静岡市 清水区			
海岸線からの距離	10m				
融雪剤散布箇所	無し				
その他		東海地方に架設されているコンクリート橋のPC桁で、海岸に面しており表面保護塗装で補修を行っている。			
劣化状況	劣化過程	-	海岸沿いの高架橋で、数年前にライニング保護塗装で塩害対策補修を行っていた。鉄筋腐食と思われるひび割れやコンクリートの浮きが顕在化し、電気防食工法での再補修が必要と判断された。		
	塩化物イオン濃度	-			
	中性化深さ	-			
	かぶり	30~70mm			
	鋼材の腐食	あり			
変色等	錆汁あり				
補修履歴		数度に涉って断面修復を行っていた			
他補修工法との併用		断面修復工法 (断面欠損部の小断面修復)			
陽極方式の選定理由		表面被覆工法が施工されている為、旧被覆材全面撤去の必要のない、チタンリボンメッシュ工法が採用された。			
電気防食施工年		2012年			
電気防食の施工	補修設計	防食基準	100mv	防食面積・長さ	2,800㎡ 11,800m
		防食回路数	18回路	モニタリング回路数	18回路
	工法の概要	既設コンクリート浮き部をWJで撤去・断面修復後に、斜め60°の溝 (5×25mm) を作成して、チタンリボンメッシュ設置後無収縮グラウトを流し込み陽極を固定する。			
施工手順	①浮き部WJ削り②照合電極設置③断面修復④チタンメッシュ陽極設置溝切⑤チタンメッシュ陽極設置⑦無収縮モルタルの打設⑧直流電源装置 (遠隔) 設置⑨配線配管				
施工上の留意点	陽極設置に60°の角度をつけるため固定角度計を作成し溝切を実施した。また、陽極材被覆用無収縮グラウトを打設するため簡易型枠 (桟木、ガムテープ) を用いた。				
維持管理状況	管理方法・状況	管理会社	構造物管理会社	電防適用後年数	9年
		構造物管理会社が維持・管理中			

劣化状況



施工前



施工前

施工中



はつり状況



溝切状況



溶接状況



配線状況

施工完了 2013年



施工完了



施工完了

状況写真